たまプラーザ整形外科リウマチ科

【65歳　未満】インフルエンザ予防接種予診票

住　　所	□ 横浜市　　□ それ以外	※必ず来院前に計測し、ご記入ください 体　温		度　　分
電話番号	－　　－			
ふりがな		年齢	小学生	さい（　　か月） ※11/24(祝)のみ小学生も接種可能
接種者氏名			中学生以上	歳
※ 保護者署名	※接種者が15歳以下(中学卒業まで)			

予防接種を希望される方は下記の禁忌事項及び注意事項をよくお読みください。

【予防接種を受けることができない人】

① 鶏肉、鶏卵に重度のアレルギーがある方
② 発熱のある人（37.5℃以上）・体調の悪い方
③ インフルエンザの予防接種を受けて具合が悪くなったことがある方
④ 妊娠・妊娠の可能性・授乳中している方も接種可能です。不安な方は産婦人科で確認をとってください。

質問事項	回答欄
1.　最近1カ月以内に何か病気にかかりましたか	はい □　いいえ □
2.　インフルエンザの予防接種でアレルギーが出たことはありますか	はい □　いいえ □
3.　薬や食品（鶏肉・鶏卵）でアレルギーが出たことがありますか	はい □　いいえ □

実施場所・医師名	使用ワクチン名	用法・容量
実 施 場 所：たまプラーザ整形外科リウマチ科 医師の署名　：	インフルエンザHAワクチン （LOT　NO.　　）	皮下接種　0.25ml □ 0.5ml □

インフルエンザワクチンの接種を受けられる方へ

〈ワクチンの効果と副反応〉

ワクチンの接種により、インフルエンザの発症を予防したり、たとえ発症しても症状が軽くすみます。そのため、インフルエンザによる重症化や死亡を予防する効果が期待されます。

副反応としては、まれにワクチンの接種直後から数日中に、発疹、じんましん、湿疹、紅斑、多形紅斑、かゆみ、血管浮腫などがあらわれることがあります。全身症状として、発熱、悪寒、頭痛、　　感、一過性の意識消失、めまい、リンパ節腫脹、嘔吐・嘔気、腹痛、下痢、食欲減退、関節痛、筋肉痛、咳嗽、動悸、筋力低下など、また局所症状として接種部位に発赤、腫脹、硬結、熱感、　痛、しびれ感、小水疱などが認められることがありますが、いずれも通常2～3日で消失します。蜂巣炎（細菌による化膿性炎症）、顔面神経麻痺などの麻痺、末梢性ニューロパチー、失神・血管迷走神経反応、しびれ感、振戦、ぶどう膜炎があらわれることがあります。非常にまれですが、次のような重大な副反応がみられることがあります。（1）ショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管浮腫など）、（2）急性散在性脳脊髄炎（接種後数日から2週間以内の発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害など）、（3）脳炎・脳症、脊髄炎、視神経炎、（4）ギラン・バレー症候群（両手足のしびれ、歩行障害など）、（5）けいれん（熱性けいれんを含む）、（6）肝機能障害、黄疸、（7）喘息発作、（8）血小板減少性紫斑病、血小板減少、（9）血管炎（アレルギー性紫斑病、アレルギー性肉芽腫性血管炎、白血球破砕性血管炎など）、（10）間質性肺炎、（11）皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson症候群）、（12）ネフローゼ症候群。なお、副反応による健康被害が生じた場合の救済については、健康被害を受けた人または家族が独立行政法人 医薬品医療機器総合機構法に基づいて手続きを行うことになります。

〈予防接種を受けることができない人〉

① 明らかに発熱のある人（37.5℃以上）
② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
③ 過去にインフルエンザワクチンに含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがある人（他の医薬品投与でアナフィラキシーを起こしたことがある人は、予防接種を受ける前にお医者さんへその旨を伝え、判断を仰いでください）
④ その他、お医者さんが予防接種を受けることが不適当と判断した人

〈予防接種を受ける際に、主治医とよく相談しなくてはならない人〉

① 発育が遅く、お医者さんや保健師さんの指導を継続して受けている人
② カゼなどのひきはじめと思われる人
③ 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気などの基礎疾患がある人
④ 前回の予防接種を受けたときに、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどのアレルギーを疑う症状がみられた人
⑤ 今までにけいれんを起こしたことがある人
⑥ 過去に免疫不全と診断されたことがある人および近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
⑦ 間質性肺炎、気管支喘息などの呼吸器系疾患のある人
⑧ 薬の投与または食事（鶏卵、鶏肉など）で皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたことのある人
⑨ 妊娠の可能性のある人

〈予防接種を受けたあとの注意〉

① 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう。
② 接種当日は接種部位を清潔に保ち、いつも通りの生活をしましょう。ただし、はげしい運動や大量の飲酒は避けましょう。
③ 高熱やけいれんなどの異常な症状が出た場合は、速やかにお医者さんの診察を受けてください。